

第95号
2023年7月

Jfcaだより

アトリエ訪問



●ヴォーグ洋裁編物学院
※春の集い2023※

2年に一度の作品発表会はコロナ禍で4年ぶりの5月20日に開催となりました。

この会は生徒有志の方々が主体的に運営しています。展示コーナーも皆さんで準備し、岡先生の作品も展示させて頂きました。

15点の作品によるファッションショーはリハールなしのドタバタ(?)でしたが、これもご愛敬。ピアノの生演奏でさらに盛り上がり、皆様に楽しんで頂けたよう
感謝です!



ご来賓の方々と一緒に

令和五年度 総会・懇親会

四月十六日、ホテルグランドヒル市ヶ谷にて、令和五年度JFCA協会総会と懇親会を行いました。

懇親会での家内会長挨拶

本日はお休みのところ日本ファッションクリエイター協会の懇親会にご出席いただき誠にありがとうございます。

当協会は服飾素材、ミシン業界、服地関係等々洋裁に関係ある販売業者などと協力し合い1983年に発足いたしました。40年余り活動いたしております。

今の世の中は戦争、異常気象、なかなか終息に至らないコロナそして物価高と安部元首相につづく昨日の岸田首相襲撃事件と生きにくい出来事が多くなっております。

そして、今の若い人たちは既製服の普及によって安価で手軽に洋服を手に入れることができ上手に組み合わせ個性を出しておりますが一年で御用済みになる製品が多く破棄したりして、モノ余りの世の中となっております。私たちが目指すのは環境に良い物、世の中のためになるモノづくりをしたいということです。



4月の新旧役員顔合わせ

FASHION SHOW
8/6
10:30~

「2023 匠の技の祭典」にて、ファッションショー(6日、10時30分から)・作品展示・販売・体験コーナー
日時: 2023年8月4日(金)~6日(日)
午前10時00分から午後6時00分まで
※ただし、最終日は午前10時00分から午後5時00分まで
会場: 東京国際フォーラム ホールE (地下2階)・ロビーギャラリー (地下1階)

日本ファッションクリエイター協会(JFCA)

洋裁指導者の素敵な仲間たちの協会

- ・生徒自作自演のファッションショーを隔年開催
- ・婦人子供服製造技術検定を推進
- ・講習会・旅行会(海外旅行も含む)など実施
指導者のご加入を歓迎いたします。



事務局

〒235-0042
横浜市磯子区上中里420-3
TEL/FAX 045(771)9237

編集後記

いよいよ暑い季節となりました。この春は数年ぶりにやっとイベントを普通に行うことができ、多くの交流がありました。夏を迎え、現在は「匠の技の祭典」出展準備で忙しく過ごしています。体験コーナーの東袋は人気です。生地のご寄付よろしくお願いたします。広報では、ご寄稿お待ちしております。皆様ご参加、よろしくお願い申し上げます。
古郡・鍋木



総会参加会員



懇親会でのアミダくじ、今年の一等賞

良い製品づくりを目指し若い人ももちろん年を重ねた人にも洋裁の楽しさを伝えたいと思いホームページを立ち上げブログをそしてSNSでの発信をこころみております。今回の懇親会は特別な講師は招かずお集りの皆様から一言お言葉いただきたく、御社のもっとも自慢の製品などの宣伝をお願いいたします。そして、おいしい食事とプレゼンツのアミダで楽しいひと時を持ちたいと思っておりますのでよろしくお願いたします。

多い区画の角に出展。家内千恵子会長オリジナルデザインの『ティアードスカートで素敵な装いを!』展示・販売しました。生地にはパティ、ワイリアムモリス、アメリカンプリントを使用し、形をアレンジした様々なスカート&トップス、バック、ポーチなどの小物も販売。素材を統一することで可愛らしく華やかなブースとなり、たくさんのお客様の目を惹くことができました。

さらにティアードスカートの作り方手引きとパターンS・M・Lも好評でした。良い製品づくりを広めていきたいという、JFCAの理念が多くの人に届いたように感じます。体験プログラムではあづま袋の他に「KIDSワークショップスペース」にてタオルのぬいぐるみ作りも行いました。お子様から大人の方まで参加してください、4年ぶりの開催にたくさんの方の笑顔を見ることができた3日間でした。

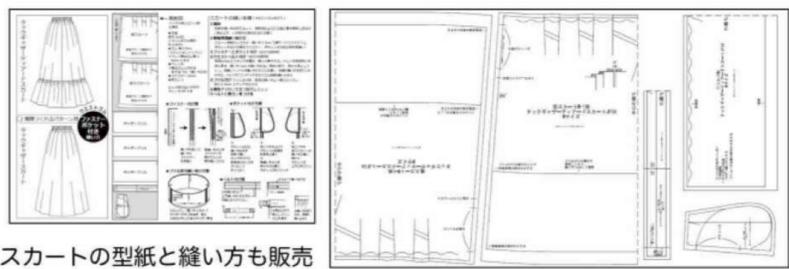
今後も協会活動の活性を目指し、ホビショーステージでのファッションショーの可能性など、アイデアを出し合い考えてまいります。

※ホビショーホームページより一部転載



KIDSワークショップ

販売中です。古郡まで
型紙 S・M・L
縫い方 各1000円
5000円



スカートの型紙と縫い方も販売



夢のような広い吹抜けの空間



北斎へのオマージュドレス

写真家の高木由里子氏がデイオールのドレスを撮影した作品は、モデルの動きを表現し、美しさを際立たせていました。

地下には吹き抜けの会場に「デイオールの夜会」とした展示、さらにバッグ、靴アクセサリ等、様々な作品群が有り、只々、圧巻としか言いようの無い展示会でした。

作品数は1100点も有ったと云うことでした。

予約チケットも取れず、朝早く並び、入館出来、ゆっくり鑑賞出来て本当に良かったです。(五十嵐)

第47回2023日本ホビショーが「まだ知らないハンドメイド」をテーマに、4月27日(木)〜29日(土・祝)の3日間に渡って東京ビッグサイト東4〜5ホールで開催されました。来場者数は7万5千576人でした。

新たな視点で素材に触れて楽しめるミュージアムや、人気キャラクターのシナモロール登場やナンタケットバスケットの世界、推し活スポット、サステナブルコーナー等、企画盛りだくさんの3日間でした。私たちJFCAブースは、人通りの

←左ページへ続く

ホビショー参加



大勢の来場者が、メインビジュアルのある会場入口に



↑ブースの様子



展覧会

●イヴ・サンローラン展
(9/20〜12/11・新国立美術館)



●染織図案とあかね会
(7/31迄・丸紅ギャラリー)



昭和初期から日本の芸術家によって描かれた独自の図案と着物や帯の展示です

●クリスチャン・ディオール
夢のクチクリエ展(終了)

入ってすぐ目に付くのは、ウェストのくびれ、ヒップラインの丸みの特徴の「ニュールック」と呼ばれた作品群。又、日本の絆を伝える企画は、浮世絵をモチーフにしたり日本文化の影響が見て取れ面白かった。